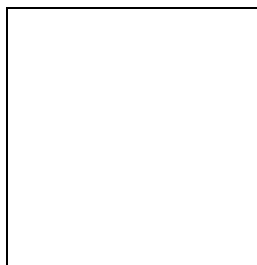


▽ 比嘉 昌哉 准教授 HIGA, Masachika



学 科: 人間福祉学科

担当科目: 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、
 専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ、卒業論文演習、
 相談援助演習、相談援助実習指導、
 スクールソーシャルワーク論、
 スクールソーシャルワーク演習・実習指導等

学歴等のプロフィール

- ①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

① 琉球大学法文学部社会学科卒業、龍谷大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻修士課程修了
② 修士(社会福祉学)
③ 日本社会福祉学会、日本学校ソーシャルワーク学会等
④ 社団法人沖縄県社会福祉士会副会長(兼 県選出代議員)、沖縄県スクールソーシャルワーカー配置事業スーパーバイザー、那覇市福祉サービスに関わる苦情への対応に関する第三者委員、スクールソーシャルワーク研究会おきなわ主宰、県内某児童福祉施設理事等

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例 1) 相談援助演習	2010 年度	2010 年度通年科目である。 効果的な授業展開を念頭に SA を導入し、演習を実施した。一度受講したことのある学生を SA として採用し、受講学生への助言を主に組み合わせた。その結果、受講学生は、先輩学生である SA をモデルに取り組むことができた。
2) 教員免許更新制講習講師	2010 年 8 月 7 日	2009 年度より実施されている教員免許更新制であり、2 年連続担当している。2010 年の受講教員は 27 名。 現在の学校現場における福祉ニーズの高まりから受講者数が多かった。

2. 作成した教科書、教材、参考書		
1)「児童福祉論」 「児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度」	2008年4月～2009年2月(通年) 2009～2010年4～9月(半期)	テキストを元にパワーポイント資料を作成し、授業用ノートとして学生に配布している。それを中心に授業を展開している。統計資料や新聞記事を積極的に活用している。
2)「学校ソーシャルワーク概論」 「スクールソーシャルワーク論」	2008年9月～2009年2月 2009～2010年9月～	テキストとしては比嘉も分担執筆している『スクールソーシャルワーク論』(学苑社、2008年)を使用している。 パワーポイント資料を作成し、授業用ノートとして学生に配布し授業を展開している。また、他の関連文献や事例集、統計資料、新聞記事等を積極的に活用している。
3. 学生支援活動		
1)学習指導 授業外における学習支援 履修指導 長欠学生・学費未納学生への支援	2008～2010年度	ゼミ生の中には毎年のように、授業についていくのが困難な学生が存在する。個別面談にて指導を行っている。 また、長欠学生については、連続3回以上欠席した場合は電話・メールで連絡するようにしている。その際、保護者との連携も欠かせない。 一方、時代を反映し授業料納入が難しい学生が多く発生し、その相談も個別にて対応している。 学生には、オフィスアワーの積極的活用を促している。
2)生活支援	2008～2010年度	上記の長欠学生を含め、遅刻が多い学生については、アルバイト等大学外での生活についても共に考え助言している。学生には、オフィスアワーの積極的活用を促している。
3)進学指導		
	2008年10月～2009年2月	本土大学院(修士課程)進学希望者への小論文等指導(四国学院大学大学院進学)
	2009年10月～2010年2月	本土大学院(修士課程)進学希望者への小論文等指導(東洋大学大学院進学)

4. 学外での教育活動		
1) 沖縄女子短期大学にて非常勤講師	2008年4月～2010年3月	「児童福祉Ⅰ」などを担当した。
2) 沖縄県警察学校にて非常勤講師	2007年4月～2010年3月	「少年非行とソーシャルワーク」を担当した。
3) 沖縄県児童館連絡協議会研修講師	2010年11月10日	「個別援助技術」を担当した。
4) 沖縄県スクールソーシャルワーカー連絡会研修会講師	2010年6月1日	「スクールソーシャルワーカーの活動のあり方」。対象は、県派遣スクールソーシャルワーカー、教育事務所指導主事等であった。
5) 名護市生徒指導連絡協議会研修講師	2010年7月5日	「福祉の視点で捉えた生徒指導の進め方」
6) 北部地区市町村等児童相談担当者会議研修講師	2010年12月10日	「スクールソーシャルワーク～学校における福祉的支援～」
7) 沖縄県スクールソーシャルワーカー活用事業スーパーバイザー	2010年度	対象は、国頭・中頭・八重山の3教育事務所の6名のスクールソーシャルワーカーであり、2～3ヶ月に1回の割合で対面でのスーパービジョンを行った。
5. 教育改善活動		
1) 2010年度授業評価アンケート	2010年度	<p>「相談援助演習」: 学生の声としては「SA制度を利用して学ぶ環境を作ってくれた」「グループワークを多くとり、実践的に学習できて意欲がわいた」など概ね良い評価をもらった。一方で、「シラバス通りの授業であった」の評価が低かったため、改善事項といえる。</p> <p>「スクールソーシャルワーク論」: 学生の声として「事例を取り入れた講義展開はとても興味深かった」「子どもたちを取り巻く現状・問題について幅広い視点から考えることができた」などプラスの評価をもらった。今後も学生にわかりやすい授業を展開できるよう改善していきたい。</p>

研究業績等

【 主要論文及び主要著書 】

- ① 「沖縄における『訪問教師』制度(スクールソーシャルワークの萌芽)―終戦直後から本土復帰までに焦点をあてて―」、『沖縄女子短期大学紀要』、第 20 号、2007 年。
- ② 「沖縄県におけるスクールソーシャルワーカー活用事業の実態」、『なかゆくい講座 元気が出るワークショップ』、沖縄国際大学公開講座委員会編、東洋企画、2009年。
- ③ 「スクールソーシャルワークとスクールカウンセリング」『スクールソーシャルワーク論…歴史・理論・実践…』、日本スクールソーシャルワーク協会編、学苑社、2008 年。
- ④ 「沖縄におけるスクールソーシャルワーク活動」『スクールソーシャルワークの展開―20 人の活動報告―』、日本スクールソーシャルワーク協会編、学苑社、2005 年。

研究分野

スクールソーシャルワーク、児童家庭福祉

【E メール・ホームページ等】

mahiga@okiu.ac.jp

平成 23 年 10 月 1 日現在